

皆様と共に歩む中川グループ



中川 樹
代表取締役 中川 裕章

現在の事業についてご説明ください。

「当グループは、部分医療、福祉、美容、住まいの各分野をもって一体的に経営しています。部分医療では、接骨院・鍼灸マッサージ院・訪問マッサージ院を開設。福祉に関しては機能訓練特化型デイサービスが2店舗、美容ではエステ、住まいは高齢者専用賃貸住宅を運営しています。」



グループの理念としましては、看とりまで含めて、地域の方が安心して生活のできるサービスを提供することを目標としています。

介護予防のデイサービスを開設しようとしたきっかけは？
私は2代目として、父の創業から35年目になります。現在、伯父が継承している接骨院は、祖父が昭和32年、

気仙沼に創業されて今年で56年になります。半世紀を超えた歴史の中に当グループがあると言っても過言ではないと思っています。

父は、その歴史の中で培われてきたノウハウの活路のひとつとして、社会の流れとニーズに 대응することを決意し、福祉事業の参入を検討していました。しかしながら本業にとられ容易に進めることができず、そこで私に大学時代の後半から、インターン中において、福祉事業を学ぶようにと託されていました。

実家に帰り父と共に当院の2代目として仕事を手伝

う傍ら、私が福祉の勉強をしている姿を見て、父から「今日まで学んできた福祉事業参入を、やる気があるのならやってみなさい！」と背中を押されたことが、一番のきっかけです。

それから本格的に、NPO介護予防研究会に入

会しながら介護保険を勉強し、当院の科学的に裏付けられた急性、亜急性の運動器系疾患に対する保存的治療技術はもとより、リハビリにおける機能回復治療技術の専門性が地域の資源として介護予防の現場においても必ず役立つと決意して開設に踏み切りました。

スタート時の苦労といえ

ば、当時、介護保険制度やケアマネジメントに関する知識が独学の私にはまったく不足していたことです。行政の福祉事業に関する考え方もさることながら、福祉に関する専門用語さえも充分でないことに気づかされ必死に勉強しました。

経営に関しては、分院立

ち上げから接骨院の運営には携わっていたこともあって、経営や従業員教育においては特別大きな違いというのはありませんでしたが、接骨院経営とは違い、窓口における自費収入の無い介護事業経営には、真剣に悩まされました。

また、当事業所開設の広報として、ケアマネジャーや地域包括支援センターに対しては、「医療保険後のリハビリの受け皿」、「在宅に戻って早期リハビリや自立を促す受け皿」、「要介護にならない予防するための受け皿」となる機能訓練に特化したデイサービスということを積極的に広報に努めました。

また、自分自身も状況が許す限り、あらゆる勉強会に参加して、諸先輩方の業務を理解するように努めました。

現在当グループは、医療の現場で行っている、リハビリテーションに、さらに近づけることを目標としています。

中川接骨院 本院
仙台市青葉区小田原四丁目2-18
☎022-264-1202

中川接骨院グループ 検索

中川接骨院

本院
南光台分院
鉄砲町分院

NAKAGAWA 美容鍼灸院
デイサービス NAKAGAWA
エステ NAKAGAWA

SPA NAKAGAWA 野草園
NAKAGAWA訪問鍼灸マッサージ
障害福祉デイサービスNAKAGAWA